

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	福祉対策措置	公共施設維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		敦賀市	
交付金事業実施場所		敦賀市三島町1丁目6-60 ほか30件	
交付金事業の概要	市民ニーズや福祉向上等のために直接寄与できる公共施設の維持運営に必要な職員の人件費(市立敦賀病院(職員68名)、図書館(職員1名)、保育園11園(保育士81名)、公民館5館(5名)、清掃センター(職員8名)、健康管理センター(職員10名)、看護専門学校(職員9名)、学校給食10校(調理員20名)の人件費の12ヶ月分)に充当。		
総事業費	885,828,023	交付金充当額	671,399,000
		うち文部科学省分	391,493,000
		うち経済産業省分	279,906,000
交付金事業の成果目標	各施設においてそれぞれの施設の目的である機能の円滑な運営や事業展開を行うことで、市民及び利用者等へのより良いサービスを提供し、福祉の向上を目指す。		
交付金事業の成果指標	<p>市立敦賀病院において、本交付金事業によって成果目標を達成するには、医師や看護師の負担軽減につながる医療事務職員や医療技術職員を確保する必要があります。本交付金により人件費の増による病院経営への影響を緩和し、医療事務職員と医療技術職員を新規採用します。(平成28年度新規採用予定 事務職員1名、臨床工学技師1名)</p> <p>図書館において、本交付金事業によって成果目標を達成するには、利用者の増加につながる利便性の向上が必要です。人口減少等により一日平均利用者数(平成27年度754人)及び一日平均貸出冊数(平成28年度1,139冊)は減少傾向ですが、同水準を維持します。</p> <p>保育園においては、待機児童数の増加が全国的に問題となっていますが、保育園運営費の国庫負担金が廃止になった平成16年度より本交付金事業により保育士の確保を行っている敦賀市では、現在待機児童数が0人となっています。今後も待機児童数0を継続します。</p> <p>公民館においては、平成27年度の利用者実績は171,326名で、敦賀市の人口66,520人の約2.6倍の利用がありました。今後も公民館の果たすべき役割を果たし、利用者数の増加を目指します。</p> <p>清掃センターにおいて、成果目標を達成するには、1日の処理能力が100トンの焼却施設や、処理能力が10トンの資源化・減容化施設等を適正かつ効率的に運用する必要があります。施設の適正かつ効率的な運用により、平成27年度には23,570トンの搬入があったごみを、迅速かつ適正に処理します。</p> <p>健康管理センターにおいて、成果目標を達成するには、市民の健康づくり事業を実施する必要があります。そこで、新規事業として、市民が生涯無理なく継続できる「自分に合った健康づくり」を実践できるよう支援する「イキイキ健活！プラス1」運動を展開し、市民の健康意識の向上と自発的な健康行動の実現を図ります。(平成28年度新規事業)</p> <p>看護専門学校において、成果目標を達成するには、卒業生が市立敦賀病院をはじめとした市内医療機関に就職し、市民のニーズに応えられる医療水準を保つことが必要です。開校以来、卒業生の35.5%が市立敦賀病院に就職するなど、卒業生の46.0%が市内の医療機関に就職していますが、同水準の市内定着を達成します。</p> <p>小中学校給食において、成果目標を達成するには、経験豊富な調理員による給食へのきめ細かな対応が必要です。平成27年度は食中毒やアレルギー事故の発生はありませんでしたが、引き続き発生件数0件を達成します。</p>		

<p>交付金事業の成果及び評価</p>	<p>市立敦賀病院では、本交付金の活用により職員68名の人件費を確保できたことで、新たに事務職員1名と臨床工学技士1名を新規採用することができ、医師や看護師の負担の軽減につながり、医療の質、サービスの向上を図ることができました。</p> <p>図書館では、本交付金の活用により職員1名の人件費を確保することができ、開館時間の延長を引き続き行い、行政サービスの向上につながりました。なお、平成28年度の一日平均利用者数は708人、一日平均貸出冊数は1,100冊となるなど、平成27年度と同水準の利用実績となりました。</p> <p>保育園では、本交付金の活用により正規保育士81名の人件費を確保することができたことで、必要な保育園定員数を確保し、待機児童数0を継続させることができ、高い行政サービスを提供することができました。</p> <p>公民館では、本交付金の活用により、職員5名の人件費を確保することができ、開館時間の延長等を行うことができ、行政サービスの向上につながりました。なお、平成27年度の利用者数171,326人に対し、平成28年度は171,143人の利用となり、若干、利用者は減ったものの前年度と同等の利用実績となりました。</p> <p>清掃センターでは、本交付金の活用により職員8名の人件費を確保することができ、平成28年度は23,120トンのごみ搬入がありました。これらを適正に処理することができ、市民の福祉向上につながりました。また、646人の見学者の受入を行い、本交付金事業のPRを行いました。</p> <p>健康管理センターでは、本交付金の活用により職員10名の人件費を確保することができたことで、新規事業として健康づくり推進事業を実施することができ、9回の事業開催で、767名の参加があり、市民の健康意識高揚を図ることができました。</p> <p>看護専門学校では、本交付金の活用により職員9名の人件費を確保することができ、卒業生23名全員を看護師として卒業させることができました。なお、卒業生23名中15名が市立敦賀病院をはじめとした市内の医療機関に就職し、市内定着率は過去の平均を上回る65.2%となり、地域の看護師不足の解消に資することができ、市民の福祉向上につながりました。</p> <p>小中学校給食では、本交付金の活用により正規調理員20名の人件費を確保することができ、食中毒やアレルギー事故の発生件数0件を達成するなど、安全で安心な給食の提供により、市民の福祉向上につながりました。今後も本交付金を活用し、各施設の職員を確保し、市民の福祉向上を図っていく予定です。</p>
---------------------	--

交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方
	人件費	雇用	—
			885,828,023
		計	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33